

令和４年 第４回金沢市教育委員会定例会議

１ 日 時：令和４年４月１８日（月） １３時３０分～１５時００分（予定）

２ 場 所：金沢市役所 第二本庁舎 ２階 ２２０１会議室

３ 審議等

頁

議案第１２号 教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について

【非公開案件】（教育総務課他）・・・ １

議案第１３号 令和４年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について

【非公開案件】（学校職員課）・・・ ８２

議案第１４号 金沢市立工業高等学校の制服リニューアルについて

（市立工業高等学校事務局）・・・ ８９

議案第１５号 金沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱等について

【非公開案件】（スポーツ振興課）・・・ ９１

報告第１５号 令和３年度児童生徒の体力・運動能力調査の結果について

（学校指導課）・・・ ９４

報告第１６号 新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について

（学校指導課）・・・ ９７

その他

（１）金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について

（２）令和４年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について

（３）金沢市立小・中学校図書館の状況について

（４）次回の定例会議の日程について

教育委員会所管の委員会等の委員の委嘱等について
【非公開案件】

令和4年4月18日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和4年度金沢市教員採用候補者選考試験の実施について
【非公開案件】

令和4年4月18日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

金沢市立工業高等学校の制服リニューアルについて

令和4年4月18日 提出

金 沢 市 教 育 委 員 会
教 育 長 野 口 弘

金沢市立工業高等学校の制服リニューアルについて

1. 経 緯

現在の市立工業高校の制服デザインは、男子生徒は詰襟の学生服、女子生徒はブレザーとスカートとなっている。しかし、女子の制服デザインについては、平成6年度の変更から28年が経過し、時代の変遷とともに、女子制服のスラックス選択制など生徒の多様性への対応を配慮した制服を導入する高校が増えてきている現状等を踏まえ、令和5年度入学生からの制服リニューアルの実施に向け、本格的な検討を開始した。

2. 新制服に関する基本方針等

- ・男女ともブレザースタイルを基本とし、女子制服のスラックス選択制など生徒の多様性への対応を配慮したデザインとする。
- ・生徒や教職員、PTA、同窓会など学校関係者のほか、本校入学希望の中学生など、幅広く意見を聴取しながら決定する。
- ・基本デザインについては、業者の提案について、教員、PTA、同窓会など学校関係者による選考の上、決定する。

3. 新制服決定までのスケジュール

- 令和3年度
 - ・校内に制服リニューアル委員会を立ち上げ、基本方針、スケジュールを決定
 - ・制服業者への説明会を実施

(今後の予定)

- 令和4年4月
 - ・プロポーザル方式により基本デザインを決定
- 5月～
 - ・生徒、本校入学希望者及び教職員等から意見聴取
- 8月以降
 - ・詳細デザインの決定・公表等
- 令和5年度
 - ・新制服の導入

金沢市スポーツ推進審議会委員の委嘱等について
【非公開案件】

令和4年4月18日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和3年度 児童生徒の体力・運動能力調査の結果について

令和4年4月18日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

令和３年度 児童生徒の体力・運動能力調査の結果について

１ 対 象 小学校４・５・６年生、中学校全学年、高等学校全学年

２ 調査内容

(1) 実技に関する調査

- ①握力 ②上体起こし ③長座体前屈 ④反復横とび ⑤持久走または20mシャトルラン ⑥50m走
⑦立ち幅とび ⑧ボール投げ(小はソフトボール、中・高はハードボール使用)
※小学校…持久走は対象外 ※中・高…持久走ではなく20mシャトルランを選択実施

(2) 質問紙調査

３ 結果の概要

※平均値の検定による比較…平均値だけでなく、分布状況を加味した比較

(1) 「体力合計点」の「市平均」と「県平均」の変化 (別紙１)

- ・体力合計点は、県と同様に、市は小中男女ともに低下した。

(2) 令和元年度及び令和３年度の「市平均」と「県平均」との比較 (別紙２)

※県平均を上回った項目は○、下回った項目は▲

①小学校

- ・「長座体前屈」は、６年女子以外の学年男女が県平均を上回った。
- ・「握力」は、６年男子以外の学年男女、「２０mシャトルラン」は、５年女子と６年男女が県平均を下回った。

②中学校

- ・「長座体前屈」は、中１女子以外の学年男女が県平均を上回った。
- ・「握力」は、中３男子以外の学年男女、「ボール投げ」は、中１女子の学年男女が県平均を下回った。

(3) 同一世代における「市平均」と「県平均」との経年比較 (別紙３)

※県平均を上回った項目は○、下回った項目は▲

- ・「ボール投げ」は、中１男子、中２女子、中３男女が、全ての学年次において県平均を下回った。

4 今後の指導の重点

- (1) 体育・保健体育科における学習指導の充実
 - ・児童生徒が運動の特性に触れ、主体的に学習に取り組めるよう、個人やグループの課題を明確にすること
 - ・安心して学習を進められるよう、ICT等を活用し、運動の行い方を指導すること
 - ・運動量を確保できるよう、易しい場の設定や用具の工夫を図ること
 - ・運動の日常化につなげられるよう、体づくり運動の学習で体力の要素に関連する基本的な動き（体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力）について、できる動きのレパートリーを増やし、動きの質を高められるよう授業改善に努めること
- (2) 教育活動全体を通した取組の充実
 - ・小学校では、県が実施している「スポチャレいしかわ」に積極的に参加し、「体力アップ事業」を有効活用するとともに、水泳・持久走・縄跳びの「チャレンジ賞」に積極的に取り組むこと
 - ・中学校では、体育的行事や部活動においても、目標を明確にしたり、関連して高まる体力を意識させたりすること
- (3) 体力向上における年間2回のPDCAサイクルの確立
 - ・各校の調査結果を分析し、「子どもの体力・運動能力向上推進事業」を活用し、年間2回のPDCAサイクルを確立させること
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書等を参考に、各校及び中学校区の実態に応じた取組を充実させること

<参考資料>

- ・文部科学省 学校体育実技指導資料第7集「体づくり運動」（改訂版）（H24.7）
- ・スポーツ庁 令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書（R3.12）
- ・金沢ベーシックカリキュラム 等

新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について

令和4年4月18日 提出

金沢市教育委員会
教育長 野口 弘

新型コロナウイルス感染症による児童生徒の発生状況について

1 児童生徒の発生状況（令和３年度）

令和３年４月１日から令和４年３月３１日までの期間において、金沢市立学校で新型コロナウイルス感染症の陽性となった児童・生徒数は次のとおりである。

	児童・生徒数												計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	
小学校 (学校名を公表したもの)	２人	５人	２人	２人	０人	３人	０人	０人	０人	８５人	１８３人	１０４人	３８６人
中学校 (学校名を公表したもの)	０人	６人	２人	５人	３人	４人	０人	０人	０人	２５人	３９人	１７人	１０１人
市立工業高校	４人	１人	０人	０人	０人	０人	０人	０人	０人	１１人	３人	０人	１９人
学校名公表せず	２人	１２人	１人	２７人	１０６人	１１人	１人	０人	０人	２１３人	７００人	６８３人	１７５６人
計	８人	２４人	５人	３４人	１０９人	１８人	１人	０人	０人	３３４人	９２５人	８０４人	２２６２人

金沢市立小・中学校別児童生徒数、学級数及び教員数について

□小学校

学校名	校長名	児童数	学級数	教員数 (県費)
泉	室井 登美子	614	22	34
中村町	河村 真吾	281	13	24
十一屋	小泉 敦嗣	313	14	19
泉野	中村 晶子	560	20	28
犀桜	辻 和久	338	14	22
小立野	沖田 拓	555	20	28
兼六	(※)山岸 茂義	414	16	22
中央(分校含む)	橘 陽子	519	25	38
長田町	中川 佳美	240	12	17
明成	(※)諸江 真美	251	12	20
諸江町	大井川 久	645	23	32
馬場	國分 孝二	71	7	10
森山町	高橋 ひろ美	300	15	20
浅野町	(※)松原 靖子	282	14	19
小坂	西田 素子	692	25	34
千坂	本間 啓子	560	21	28
夕日寺	(※)山口 久代	240	11	15
大浦	(※)加藤 雄一	406	16	21
浅野川	山岸 朋子	357	15	20
鞍月	石田 浩二	773	26	36
栗崎	(※)長田 博美	341	14	19
大野町	(※)鶴岡 美津代	154	8	11
金石町	清水 憲之	278	13	18
大徳	島倉 晴信	769	26	35
戸板	寺井 義春	873	31	41
緑	平野 友昭	592	21	29
押野	村上 誠	437	18	24

●太字は異動者

●(※)は新任校長

□中学校

学校名	校長名	生徒数	学級数	教員数 (県費)
泉	(※)大茂 勝	433	15	31
野田	羽場 政彦	606	20	37
城南	(※)山本 美紀	310	11	20
紫錦台	宮崎 祐子	442	14	26
兼六	可長 俊太	819	25	44
小將町(分校含む)	(※)田中 一宏	260	17	31
高岡	布村 一雄	656	20	38
鳴和	(※)森中 静恵	485	16	31
長田	増江 雅人	637	20	38
浅野川	由井 力	738	23	40
金石	町出 達朗	425	14	25
芝原	中村 由恵	30	4	9
西南部	佐々木 伸治	791	24	43
内川	小竹 淳夫	21	4	10
犀生	(※)神農 幸子	84	5	10
医王山	(※)田中 宏志	30	5	11
森本	山本 英喜	468	15	28
額	杉中 純子	536	18	32
高尾台	辰巳 豊	624	20	37
緑	(※)貞廣 賢了	521	18	34
港	玉川 一守	564	18	34
北鳴	堀内 伸一	575	19	33
大徳	水野 泰夫	561	18	35
清泉	(※)高橋 佐代子	512	18	31
中学校計		11,128	381	708

(令和4年4月7日現在)

・学級数は実学級とする

・教員数は再任用教諭、欠員講師を含む
(養護教諭、栄養教諭、事務職員、研修者を除く)

○金沢市立小・中学校 学級数、児童生徒数及び教員数の推移について

(平成24, 29, 令和3年：各年5月1日現在、令和4年：4月7日現在)

1. 学級数の推移

(単位：学級)

		平成24年	平成29年	令和3年	令和4年
小学校	通常学級	819	792	765	763
	特別支援学級	115	115	127	128
	小計	934	907	892	891
中学校	通常学級	346	332	327	325
	特別支援学級	46	51	50	56
	小計	392	383	377	381
合計	通常学級	1,165	1,124	1,092	1,088
	特別支援学級	161	166	177	184
	総合計	1,326	1,290	1,269	1,272

2. 児童生徒数の推移

(単位：人)

	平成24年	平成29年	令和3年	令和4年
小学校	24,042	23,354	22,582	22,391
中学校	11,846	11,451	11,232	11,128
合計	35,888	34,805	33,814	33,519

3. 教員数の推移

(単位：人)

	平成24年	平成29年	令和3年	令和4年
小学校	1,246	1,238	1,235	1,241
中学校	693	695	694	708
合計	1,939	1,933	1,929	1,949

(養護教諭・栄養教諭、事務職員、研修者を除く)

令和４年度全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査の実施状況について

I 令和４年度全国学力・学習状況調査

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日

令和４年４月１９日(火)

3 調査の対象 ※調査対象数(児童生徒数)は、R4.4.7 現在

小学校第６学年 金沢市 53校（※3,707人）

中学校第３学年 金沢市 24校（※3,782人）

【参考】

- ・令和３年度の状況

小学校第６学年 金沢市 53校(3,633人)

中学校第３学年 金沢市 24校(3,394人)

※調査実施数（児童生徒数）は、国語の調査を実施した人数

※調査時期は、例年よりおよそ１か月遅い５月２７日に実施

- ・令和２年度の状況

新型コロナウイルス感染症対策のための一斉休業の影響を考慮し中止となり、調査問題は、各学校の実情に応じて活用

4 調査の内容

(1) 教科に関する調査（出題については、①、②を一体的に問う調査問題）

- ・小学校 国語、算数、理科
- ・中学校 国語、数学、理科

出題内容①	出題内容②
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力 ・様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例) 国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、家庭学習の状況 など	<ul style="list-style-type: none"> ・指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況 など

※児童生徒質問紙調査について、一部の学校で1人1台学習用端末を活用したオンラインによる回答方式で実施する。

(実施期間は、4月19日(火)～4月28日(木))

5 公表

- ・教育委員会が市立学校全体の平均正答率の公表を行う。
- ・各学校が内容や方法を工夫し、公表を行う。
(スクールフォーラム、学校運営協議会、学校便り 等)

Ⅱ 令和４年度県基礎学力調査

１ 調査の目的

- ・児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況、及び学習・生活状況について把握・分析し、学校における児童生徒への教育指導の改善を図る。
- ・教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てる。

２ 調査実施日

令和４年４月１８日（月）（予備日４月２０日（水））

３ 調査の対象

全公立小・中学校における次の学年の全児童生徒を対象に調査する。

ただし、調査の集計・分析については、各学校対象学年から無作為に１学級ずつ抽出して行う。

- ・小学校第４学年 金沢市 ５３校（※３,７２３人）
 - ・小学校第６学年 金沢市 ５３校（※３,７０７人）
 - ・中学校第３学年 金沢市 ２４校（※３,７８２人）
- ※調査対象数（児童生徒数）は、Ｒ４.４.７現在

【参考】

- ・令和３年度の状況

区 分	金 沢 市		金沢市集計・分析 対象者数		県集計・分析 対象者数（金沢市含む）
	学校数	調査実施数	学校数	抽出	調査実施数
小学校第４学年	５３校	３,７５５人	５３校	１,３７３人	４,３２７人
小学校第６学年	５３校	３,６６２人	５３校	１,４８１人	４,７０８人
中学校第３学年	２４校	３,３９９人	２４校	７２８人	２,４４７人

- ・令和２年度の状況
新型コロナウイルス感染症対策のための一斉休業の影響を考慮し中止となり、調査問題は、各学校の実情に応じて活用

4 調査の内容

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

- ・ 小学校 第4学年 国語、算数 第6学年 社会
- ・ 中学校 第3学年 社会、英語

② 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級(各学校対象学年1学級)の児童生徒を対象に調査する。

(2) 教員に対する調査

① 質問紙調査

- ・ 抽出した小・中学校における教員を対象に調査する。(約2,000人)
- ・ 授業における指導状況等に関する内容について調査する。

【参考】

対象校：金沢市 小学校20校・中学校7校

5 公表

- ・ 教育委員会が市立学校全体の平均正答率の公表を行う。
- ・ 各学校が内容や方法を工夫し、公表を行う。
(スクールフォーラム、学校運営協議会、学校便り 等)

金沢市立小・中学校図書館の状況について

１ 学校司書の配置等

(1) 配置人数

平成 23 年	21 名	平成 24 年	31 名
平成 25 年	40 名	平成 26 年～30 年	39 名
令和 元年～ 2 年	38 名		
令和 3 年～	41 名（令和 3 年 4 月に 3 名採用）		
令和 4 年～	44 名（令和 4 年 4 月に 3 名採用）		

(2) 配置日数(R3年度)(令和3年4月～)

区 分	小学校	中学校	合 計
週 5 日校	12 校	0 校	12 校
週 3 日校	21	10	31
週 2 日校	20	11	31
合 計	53	21	74

※小中併設校 3 校は小学校でカウント

(3) 主な成果

①一人当たり図書貸出冊数

区 分	小学校		中学校	
	貸出冊数	対H22比	貸出冊数	対H22比
H22	24.2 冊	- 倍	3.2 冊	- 倍
H23	27.8	1.1	3.9	1.2
H24	45.3	1.9	6.6	2.1
H25	60.5	2.5	8.9	2.8
H26	69.1	2.9	11.3	3.5
H27	76.3	3.2	13.6	4.3
H28	82.4	3.4	15.3	4.8
H29	82.7	3.4	17.3	5.4
H30	95.1	3.9	17.0	5.3
R 元	92.6	3.8	17.5	5.5
R 2	98.8	4.1	11.4	3.6
R 3	109.3	4.5	16.2	5.1

②授業回数(1校当たり1か月間)

区 分	学校司書を活用した授業回数		学校図書館で行った授業回数	
	小学校	中学校	小学校	中学校
H 2 3	- 回	- 回	14.1 回	6.0 回
H 2 4	7.4	3.8	16.6	8.5
H 2 5	8.9	4.4	15.0	8.2
H 2 6	10.7	5.7	16.7	7.0
H 2 7	11.2	6.2	16.7	6.3
H 2 8	12.9	7.0	15.7	6.7
H 2 9	15.3	6.5	17.1	6.2
H 3 0	16.7	6.2	16.6	6.1
R 元	15.2	5.3	16.0	5.5
R 2	14.2	5.7	15.0	5.2
R 3	17.8	4.4	16.4	4.1

※H 2 3は学校司書配置後の平均数値

③読書意欲を高める工夫

貸出人気図書ランキング、教師のおすすめ本コーナーの設置、多読者の表彰(紹介)、
読書スタンプラリー、クイズラリー、読書ビンゴ、読書ノートの活用等

2 蔵書冊数

区 分	小学校		中学校	
	蔵書数	国の標準に 対する充足率	蔵書数	国の標準に 対する充足率
H 2 2	479,871 冊	89.8 %	252,830 冊	85.5 %
H 2 3	504,909	94.5	265,250	89.7
H 2 4	525,866	99.6	276,930	94.3
H 2 5	541,724	104.9	287,840	97.5
H 2 6	563,926	109.2	304,179	103.1
H 2 7	588,685	114.8	321,211	108.9
H 2 8	616,473	122.2	338,558	115.8
H 2 9	640,181	126.9	351,262	121.0
H 3 0	637,888	126.8	350,399	123.1
R 元	643,257	129.9	348,923	124.0
R 2	650,957	131.1	348,185	121.6
R 3	649,718	131.2	349,991	121.7

平成28年度末で、国の標準冊数に対して、全小中学校で充足率100%、
小中学校全体で平均充足率110%を達成

3 公立図書館による学校団体貸出状況(H22～H30玉川こども図書館、R元～ 泉野図書館)

区 分	小学校		中学校	
	利用校数	冊 数	利用校数	冊 数
H 2 2	52 校	23,632 冊	11 校	1,510 冊
H 2 3	53	33,277	14	3,030
H 2 4	56	35,122	19	4,396
H 2 5	57	27,631	21	4,383
H 2 6	55	23,537	21	3,842
H 2 7	52	19,120	22	5,830
H 2 8	55	16,752	23	4,934
H 2 9	52	17,054	23	4,902
H 3 0	52	16,098	22	4,977
R 元	51	12,536	19	2,955
R 2	50	11,577	19	3,674
R 3	50	15,220	21	2,520

4 学校図書ボランティア登録者数

区 分	小学校		中学校	
	校 数	人 数	校 数	人 数
H 2 2	58 校	994 人	18 校	184 人
H 2 3	58	1,021	17	197
H 2 4	58	1,015	17	177
H 2 5	57	996	18	132
H 2 6	57	1,002	18	120
H 2 7	55	975	15	150
H 2 8	54	1,022	18	146
H 2 9	54	1,068	18	154
H 3 0	54	1,068	19	171
R 元	53	1,038	17	150
R 2	52	840	16	142
R 3	50	842	16	158

※小中併設校は小学校でカウント

学校図書館内の整理・飾り付け、読み聞かせ、本にまつわる話の紹介等を実施
9月に研修会を実施(代表による事例発表、読み聞かせ・ポップ作り・本の修理研修)

資 料
報告第 1 5 号

令和 3 年度 児童生徒の体力・運動能力調査の結果について

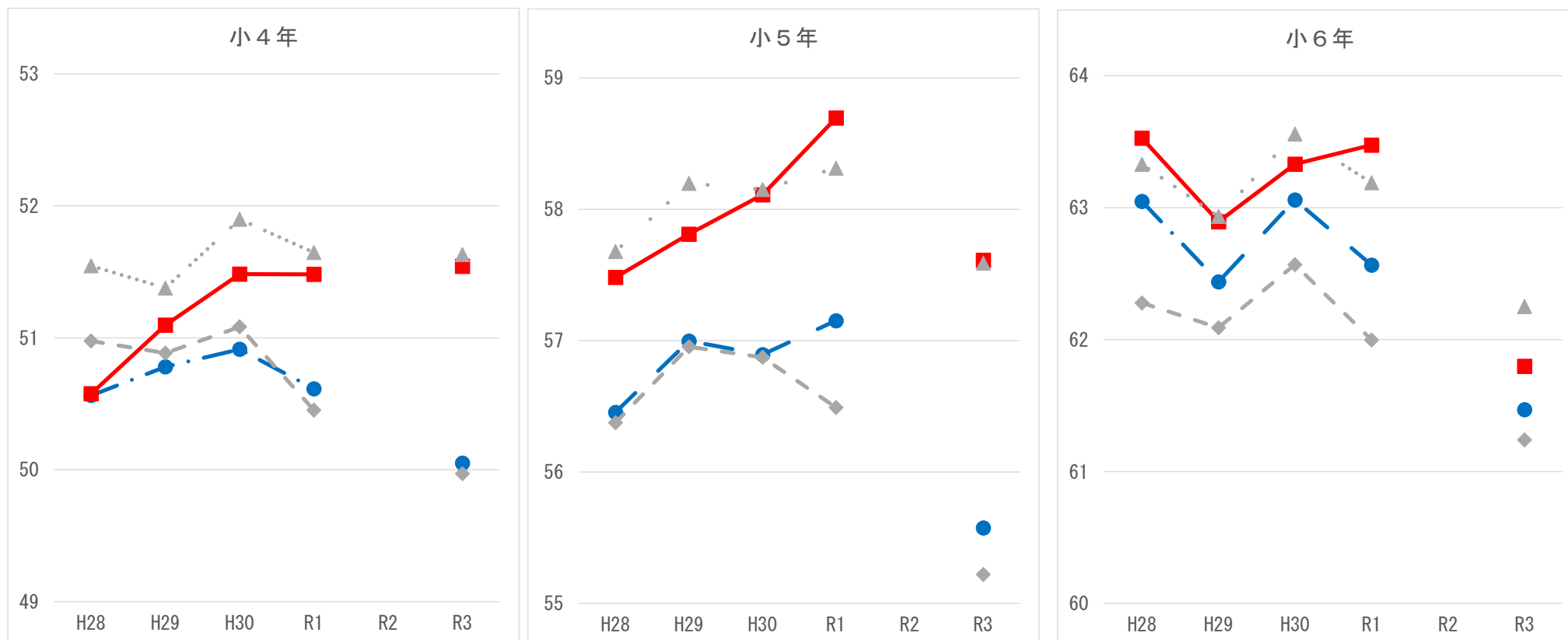
本市の児童生徒の体力・運動能力調査結果について

(1) 「体力合計点」の「市平均」と「県平均」の変化

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止

●市（男） ◆県（男） ■市（女） ▲県（女）

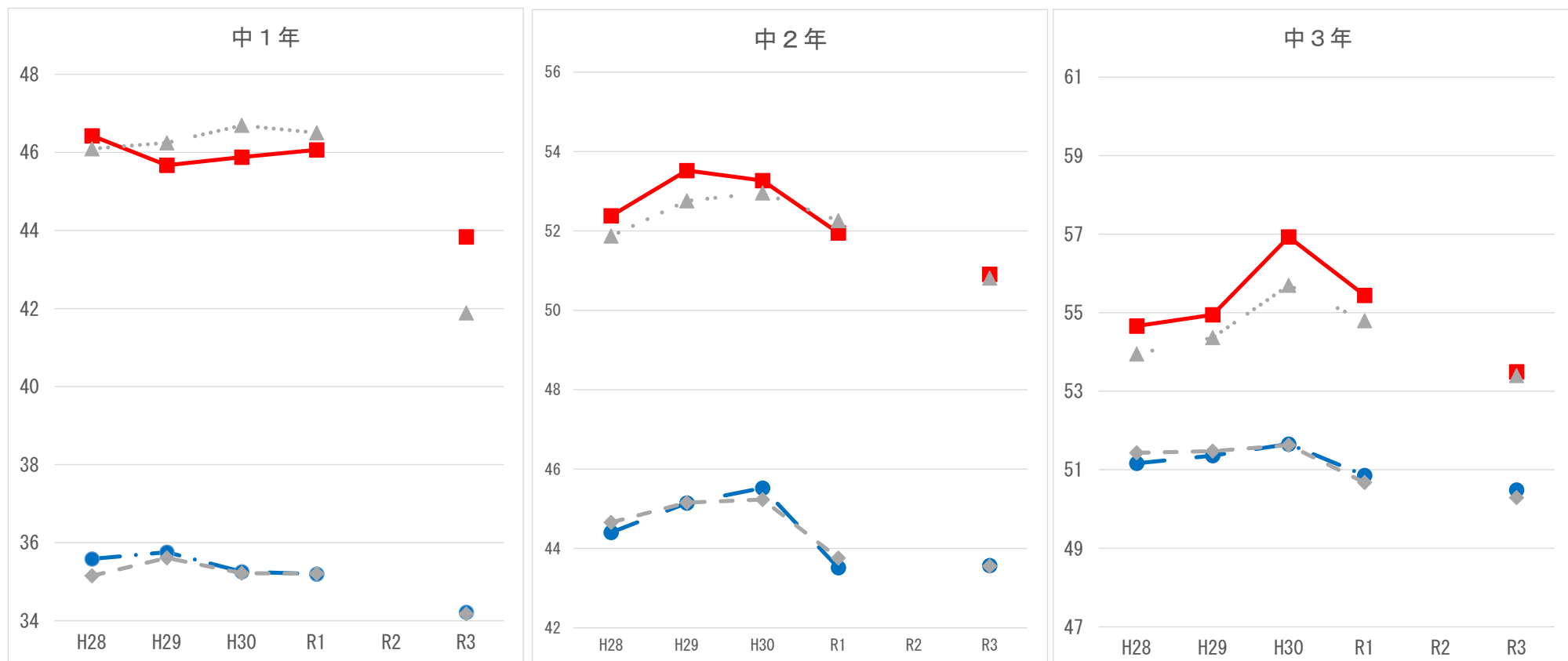
【小学校】



※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止

●市（男） ◆県（男） ■市（女） ▲県（女）

【中学校】



本市の児童生徒の体力・運動能力調査結果について

(2) 令和元年度及び令和3年度の「市平均」と「県平均」との比

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止

※平均値の検定による比較（危険率5%）

※中学校においては、持久走ではなく20mシャトルランを選択実施

【小学校】

【○…県平均上回る

無記入…有意差なし

▲…県平均下回る】

<令和元年度>

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
小4男	▲					○		
小5男		○	○	○		○		▲
小6男		○	○	○				
小4女	▲		▲			○	▲	▲
小5女			○	○		○		
小6女			○	○				▲

<令和3年度>

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
小4男	▲		○				▲	▲
小5男	▲		○			▲		
小6男			○	○	▲			
小4女	▲		○				▲	
小5女	▲		○		▲			
小6女	▲	▲			▲			▲

【中学校】

【○…県平均上回る

無記入…有意差なし

▲…県平均下回る】

<令和元年度>

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
中1男	▲							▲
中2男	▲		○				○	▲
中3男	▲		○		▲		○	▲
中1女	▲		○				○	▲
中2女	▲	▲					○	▲
中3女			○	○			○	▲

<令和3年度>

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
中1男	▲		○	▲			○	▲
中2男	▲		○					▲
中3男		○	○					▲
中1女	▲					▲		
中2女	▲		○				○	▲
中3女	▲		○	▲	○		○	▲

本市の児童生徒の体力・運動能力調査結果について

(3) 同一世代における「市平均」と「県平均」との経年比較

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により調査を中止
※平均値の検定による比較（危険率5%）※同一世代：（例）令和元年度は小4年、令和3年度は小6年の集団

【○…県平均上回る 無記入…有意差なし ▲…県平均下回る】

※小4、5年については、経年比較する結果がないため、掲載しない。

＜小6男子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
R1（小4次）	▲					○		
R3（小6次）			○	○	▲			

※中学校において、持久走ではなく20mシャトルランを選択して実施

＜中1男子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H30（小4次）		▲						▲
R1（小5次）		○	○	○		○		▲
R3（中1次）	▲		○	▲			○	▲

＜中2男子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H29（小4次）	▲			▲				
H30（小5次）						○		▲
R1（小6次）		○	○	○				
R3（中2次）	▲		○					▲

＜中3男子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H28（小4次）		▲			▲	▲		▲
H29（小5次）	▲		○					▲
H30（小6次）			○	○	▲			▲
R1（中1次）	▲							▲
R3（中3次）		○	○					▲

＜小6女子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
R1（小4次）	▲		▲			○	▲	▲
R3（小6次）	▲	▲			▲			▲

＜中1女子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H30（小4次）		▲		▲	▲	▲	▲	▲
R1（小5次）			○	○		○		
R3（中1次）	▲					▲		

＜中2女子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H29（小4次）	▲	▲					▲	▲
H30（小5次）				○			▲	▲
R1（小6次）			○	○				▲
R3（中2次）	▲		○				○	▲

＜中3女子＞

	①握力	②上体起	③長座体	④反復横	⑤シャトルラン	⑥50m走	⑦立ち幅	⑧ボール投
H28（小4次）		▲		▲	▲	▲	▲	▲
H29（小5次）		▲			▲	▲		▲
H30（小6次）			○		▲	▲		▲
R1（中1次）	▲		○				○	▲
R3（中3次）	▲		○	▲	○		○	▲